



理 念

働く人と地域のために
患者中心の最善の医療を実施します

Contents

院長挨拶	1
大腿骨頸部骨折と地域連携	1
CT、MRI造影検査依頼時の 腎機能情報のご提供についてのお願い	2
着任医師のご挨拶	2
着任・退任医師一覧	3

院長挨拶

ご挨拶

病院長 佐藤 藤

譲

日頃は当院の診療、運営面に多大なご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。当院は平成18年より川崎市南部2次医療圏の地域医療支援病院としての活動を続けて参りましたが、最近、紹介率は約80%、逆紹介率は約60%まで増加しております。先生方の御尽力に、心より感謝申し上げる次第です。昨年度は大きな目標でありました総合入院体制加算2の取得に向けて、各診療科が逆紹介患者を増やすことに積極的に取り組みました。この加算を取得できたことは大きな喜びでありましたが、同時に逆紹介患者を増やすことが結果的に、紹介患者数を増加させ、新入院患者数を増加させるというメカニズムを肌で実感した1年でありました。

このように入院が必要となる患者さんを数多く収容し、効率的に治療するために、当院では本年2月より、入院が決定した段階から一貫して患者さんの術前、入院管理を行い、治療の安全性を向上させるための「入院サポートセンター」サービスを開始いたしました。現在は、白内障、心臓カテーテル検査、内視鏡下の大腸ポリペクトミー、ミエログラフィーなどに対象を限定しておりますが、徐々に対象疾患の拡張を図っていく予定です。

当院は地域のランドマーク病院として皆様から信頼される医療を目指しております。何卒よろしくお願い申し上げます。

大腿骨頸部骨折と地域連携

副院長・地域医療連携室長・整形外科部長 岡崎 裕司

骨粗鬆症が素因の大腿骨頸部骨折は高齢者の高頻度運動器外傷で、女性の寝たきり原因の第1位は骨折転倒で、全体の24%も占めています。最終目標の“元の生活”に戻すには、早期離床が最重要課題で、現状の解決法としては手術療法が第1選択です。一方、来る2025年問題の解決策の将来像としては生活を分断しない地域医療連携の更なる強化が待ったなしの状況で“施設から地域へ、医療から介護へ”のパラダイムシフトが喫緊の課題です。頸部骨折手術後に回復期で獲得したADLを維持する維持期リハビリテーションと介護リハビリの問題も内包するこの移行はMSWとケアマネジャーのシームレスな介入が必須の要件です。また、骨粗鬆症の診断、治療の継続性も必要不可欠な要素です。そこで、これまでに培われた大腿骨頸部骨折地域連携パスの更なる進展を住民、医師会、病院と行政間での再構築を含めて皆様と一緒に実行して参りましょう。

CT、MRI造影検査依頼時の腎機能情報のご提供についてのお願い

放射線診断科 副部長 松田 出 中央放射線部 技術部長 加藤 栄作

平素より当院でのCT、MRI検査をご利用くださり誠にありがとうございます。

当院放射線診断科、中央放射線部では昨年度、より安全な検査を提供できるよう、造影剤検査についての運用ルールの見直しを進めてまいりました。CTでのヨード造影剤、MRIでのガドリニウム造影剤の使用には種々のリスクが知られています。とりわけ腎不全症例についてはヨード造影剤での腎障害、ガドリニウム造影剤での腎性全身性線維症（nephrogenic systemic sclerosis, NSF、※1）のリスクが高くなります。従いまして院内症例については全例での腎機能チェックを必須としております。

皆様からのCT、MRI造影検査の依頼時（※2）にも、直近の採血データのうちクレアチニン値（※3）をご提供くださいますようお願い申し上げます。当院でのクレアチニン値再検では患者様の待ち時間が非常に長くなってしまいます。ご面倒と思いますが、迅速で快適な検査施行のためご協力をお願いいたします。

- ※1 腎性全身性線維症（nephrogenic systemic sclerosis, NSF）：重篤な腎機能障害患者にガドリニウム造影剤をした後に、時に数年後にわたり皮膚の腫脹、発赤、疼痛などが急性ないし亜急性に発症する疾患。進行すると皮膚の硬化、関節拘縮などのため高度の身体機能障害に陥り、時に死亡例も報告されている。
- ※2 造影検査の必要性に迷われる場合は造影一任としていただいて結構ですが、その場合も腎機能データを添付いただけますようお願いいたします。
- ※3 詳細な運用ルールは紙幅の関係上記載いたしません、クレアチニン値から換算したeGFR（推定糸球体濾過量）が30ml/min/BSA未満の場合はCT、MRIともに造影不可能となります。

着任医師のご挨拶

腎臓内科

横地 章生（よこち あきお）（部長）

4月より赴任しました横地です。腎疾患全般、血液浄化療法など幅広く対応しますので、適応の患者様がいらしたら紹介して頂ければと思います。

精神科

金川 英雄（かねかわ ひでお）（部長）

4月より赴任しました。700床ほどの東京の精神科救急病院に20年いました。太宰治の「人間失格」の最後の方に出てくる病院です。趣味は精神医療史研究です。

外科

坂田 宏樹（さかた ひろき）（副部長）

4月より赴任しました坂田と申します。専門は消化器外科ですが、特に肝・胆・脾領域を得意としております。東大病院、癌研有明病院、がんセンターなどの専門施設とも連携しつつ、高品質でありながら人間味ある医療を提供できればと考えております。診断や治療でお困りのことがありましたら、お気軽に御相談を頂ければ幸いです。

血液内科

安山 浩信（やすやま ひろのぶ）

4月より赴任しました安山です。日本酒と温泉が趣味です。関東地方に住むのは初めてなので、川崎での生活を楽しみにしております。これからよろしくお願いします。

血液内科

松井 知治（まつい ともはる）

4月より赴任しました松井知治です。専門は腫瘍内科で特に肺癌を得意としております。造血器腫瘍、その他の固形がんの症例でお困りの事がございましたら何なりとお申し付けください。

神経内科

久米本貴利（くめもと たかとし）

4月より赴任しました久米本貴利です。北九州から来ましたが、出身が関東ですのでこちらに来るのを楽しみにしていました。よろしくお願いします。

腎臓内科

藤岡 愛（ふじおか めぐみ）

4月より腎臓内科に所属となりました藤岡です。初期研修をした病院で引き続き地域の力の力になれるよう頑張りたいと思いますよろしくお願いします。

糖尿病・内分泌内科

蘇原 慧美（そはら えみ）

4月より赴任しました蘇原です。糖尿病教育入院も行っておりますので、適応の患者さんがいらしたら、御紹介いただけたらと思います。

呼吸器内科

伊藤 俊輔（いとう しゅんすけ）

4月より赴任しました伊藤です。よろしくお願いします。

呼吸器外科

椎野 王久（しいの きみひさ）

4月より赴任しました椎野王久と申します。呼吸器、縦隔、胸壁疾患が専門です。これまで培ってまいりました胸腔鏡手術の技術を更に磨けるよう精進し、皆様のお役に立てるよう努力します。よろしくお願いします。

外科

荒記 春奈（あらか はるな）

4月より赴任しました荒記です。専門は外科になります。どうぞよろしくお願いします。

整形外科

本田 秀樹（ほんだ ひでき）

4月より赴任しました本田です。整形外科医としては3年目で色々学びたいと思っています。よろしくお願いします。

スポーツ整形外科

山神 良太（やまがみ りょうた）

4月より赴任しました山神です。スポーツ整形外科、特に膝関節を中心に診療にあたっています。よろしくお願いいたします。

脳神経外科

服部裕次郎（はっとり ゆうじろう）

4月より赴任しました服部です。小児科専門医取得後に脳神経外科に転向し、基礎研究や下垂体（内分泌）に興味のある変わり者ですが、脳神経外科診療歴は浅いため、専門医取得のため川崎で幅広く経験を積めればと思います。

脳神経外科

白銀 一貴（しろかね かずたか）

4月から赴任した白銀です。専門は脳血管障害です。脳出血、脳こうそく、くも膜下出血などの救急疾患に24時間365日対応しております。頸動脈疾患や未破裂脳動脈瘤など脳神経外科疾患の患者様がいらしたら御紹介頂ければ幸いです。

形成外科

安岡 裕司（やすおか ゆうじ）

4月より赴任しました安岡です。専門はまだありませんが、眼底周辺の疾患や顔面レーザー治療等多く診たいと望んでおります。宜しくお願いいたします。

皮膚科

松本 藍（まつもと あい）

4月より赴任しました。昨年度は栃木県の病院に勤務しておりましたので、こちらはすいぶん便利で住みやすい町だと感じております。よろしくお願いします。

産婦人科

西田 晴香（にしだ はるか）

1月から非常勤、4月から常勤として勤務させて頂いています西田です。4年前にも1年間勤務させて頂き、また戻って参りました。様々な手術症例のご紹介をお待ちしております。よろしくお願いします。

麻酔科

渋谷 綾子（しぶや あやこ）

4月より赴任しました渋谷です。患者さんが安心して手術を受けられるよう安全な麻酔を心がけたいと思います。よろしくお願いします。

麻酔科

長塚 行雄（ながづか ゆきお）

安全な麻酔を心がけます。よろしくお願いします。

放射線診断科

前原 由美（まえはら ゆみ）

4月より赴任しました前原です。放射線科医としてまだまだ駆け出しですが、精一杯頑張っているつもりですので、よろしくお願いします。

放射線診断科

山本 晃大（やまもと こうだい）

4月より赴任しました山本です。画像診断を通じて地域医療に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いします。

救急総合診療科

名倉 功二（なぐら こうじ）

救急外来と集中治療室での診療を主に担当いたします。病棟の窓口となる機会が多いことに高い意識をもち、幅広い疾患に対応できるよう努力致します。よろしくお願いします。

救急総合診療科

高橋 直樹（たかはし なおき）

救急を得意としております。陸上競技をずっとやっておりましたので、最近ではマラソンにも出場しております。体力には自信があります。今後ともよろしくお願い致します。

着任医師一覧（平成27年4月1日）

診療科	医師名	診療科	医師名
腎臓内科	横地 章生（部長）	整形外科	本田 秀樹
	富田 瑛子	スポーツ整形外科	山神 良太
	藤岡 愛	形成外科	安岡 裕司
糖尿病・内分泌内科	蘇原 慧美		本間 有貴
血液内科	安山 浩信	脳神経外科	服部 裕次郎
	松井 知治		白銀 一貴
精神科	金川 英雄（部長）	皮膚科	松本 藍
神経内科	久米本 貴利		辻 香織
呼吸器内科	伊藤 俊輔	産婦人科	西田 晴香
	池田 美彩子	眼科	乾 博子
呼吸器外科	椎野 王久	耳鼻咽喉科	徳留 卓俊
消化器内科	小野寺 翔	放射線診断科	山本 晃大
外科	坂田 宏樹（副部長）		前原 由美
	増田 晃一	麻酔科	長塚 行雄
	北島 徹也		渋谷 綾子
	野口 竜剛	救急総合診療科	名倉 功二
	荒記 春奈		吉井 肇
整形外科	小田 浩司		高橋 直樹
	西川 洋生		石井 智也
	片野 俊弘		藤森 大貴
		歯科口腔外科	

退任医師一覧（平成27年3月末日）

診療科	医師名	診療科	医師名
腎臓内科	宇田 晋（部長）	スポーツ整形外科	井本光次郎
	式田 康人	形成外科	門田 優香
糖尿病・内分泌内科	郷内めぐみ	脳神経外科	廣中 浩平
血液内科	松永 貴志	皮膚科	須永 亮
精神科	正村 謙二（副部長）		北島麻耶子
呼吸器内科	山川 泰	産婦人科	松村 慶子
	川島 英俊	耳鼻咽喉科	小倉 千佳
呼吸器外科	三ツ堀隼弘	放射線診断科	佐藤 祥恵
外科	和田 友祐		酒向 朋子
整形外科	篠田 圭介	放射線治療科	横川 徳造（部長）
	井上 隆志	麻酔科	權守 直紀
	江口 英人		矢野 洋之
	和田 一佐	救急総合診療科	東岡 宏明（部長）
	小池 良直	歯科口腔外科	岡田とし江（部長）
	大友 望		